

平成26年度第3回新名取市図書館施設整備検討委員会議事録

会議名	第3回 新名取市図書館施設整備検討委員会	
日時	平成27年3月26日(木) 15時00分～16時40分	
場所	名取市図書館 南館	
出席者 【14名】	委員7名	早川光彦、佐伯幹子、板橋正春、福間澄絵、三塚玲子、 下澤なおみ、大野千春
	アドバイザー	岡本真
	事務局5名	生涯学習課 川村美保子課長、佐々木賢一課長補佐 図書館 柴崎悦子館長、石川雅一主査、西山真喜子司書
	説明員1名	増田復興再開発推進室 松原妃主事
欠席者	委員3名	天間環、志賀保史、長沼明子
傍聴者	1名	

1 開 会

◎事務局

定刻になりましたので、平成26年度第3回新名取市図書館施設整備検討委員会を始め
てまいります。

会議前に会議成立の確認をさせていただきます。新名取市図書館施設整備検討委員会
設置要綱によりますと、会議出席者数による定義は特にございませませんが、委員7名、岡
本アドバイザーの出席となっておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、この会議は名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により公開
の対象となります。本日も傍聴席を設けておりまして、傍聴者1名でございます。

また、非公開となるような議事の予定はしておりませんが、非開示情報が含まれる場
合は、会議に諮り決定していただくことになっております。

なお本日の会議録につきましては、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第9条
の規定により、市政情報コーナーで会議を開催した日が属する年度の翌年度の4月1日
から起算して3年間、閲覧に供される他、インターネット上、市のホームページに1年
間公開されます。公開時の名前は、名字 ○○委員と表記されますのでご承知願います。

それでは開会にあたりまして、早川委員長様よりごあいさつをお願いいたします。

2 あいさつ

◎早川委員長

こんにちは。先日、岡本さんといっしょに岩手県一関市立図書館を見てまいりました。
このことをあいさつに代えてお話しさせていただきます。図書館に小さな子どもが入っ
てきたら図書館職員がすごく嬉しそうな表情で対応していました。

一関市立図書館はサービス面では相当良い方に入ると思いますが、数字だけで

はない良さを見れたなあと思いました。

今の名取の図書館の評価もアンケートによると木のぬくもりや対応について非常に高い評価をいただいておりますが、この良さを駅前に場所を変えて日常的に見れるのだなあと考えております。

前回12月19日の検討委員間でも様々なご意見をいただきました。今回議事は二つありますが、2件目のライブラリーミーティングととよたかずひこ講演会でのアンケートでも意見を頂戴しております。読ませていただきましたが、名取市民は図書館を使い慣れている方が多いと感じました。

本検討委員会と市教育委員会において、このような意見をきちんと向き合って、それを形にしていく段階に入ってきたのだらうと考えております。

今回は生涯学習課で模型を作成しており、前回よりも一歩踏み込んだ議論ができるかと思っておりますので、ご審議をどうぞよろしく願いいたします。

3 前回会議の報告

◎事務局

次に前回会議の報告になりますが、時間がかかってしまい申し訳ありません。会議録につきましては机の上に置かせていただいております。本来であれば今回の会議前に一度ご一読いただきたいところでしたが、遅れたこと大変申し訳なくお詫びしたいと思います。後ほどご覧いただくということでご了解をいただきたいと思っております。

4 議事

(1) 新図書館施設内のゾーニング案について

◎事務局

それでは、議事に入ってまいります。議事の進行は委員長に議長とさせていただいて進めていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

◎早川委員長

それでは、次第に従いまして議事を進めてまいります。

議事の(1)新図書館施設内のゾーニング案について、前回様々なご意見をいただきまして、それをより具体的にイメージしやすくなるように模型をご用意いただいております。こちらも含めて事務局から説明をお願いいたします。

◎事務局

説明の前に一点よろしいでしょうか。皆様のお手元に資料を送らせていただいておりますが、その後若干変更がありまして、机の上に置かせていただいております。まぎらわしくて申し訳ありませんが、机の上に置いたものが最新になりますのでよろしくお願ひします。自走式駐車場と書いてある図面が一番新しいものになります。それからライブラリーミーティングで出された意見結果についても、若干訂正したところがございますので、併せて差替えでお願ひいたします。

◎早川委員長

それでは、改めて前回の会議のご意見を踏まえて、事務局から説明をお願いします。

◎柴崎館長

それでは図面についてご説明させていただきます。

前回の会議で階段の位置とエレベーターの位置について、もう少し使いやすい場所に移動させることができないかという話がありまして、設計会社に伝えたところこの図面を作っていただきました。

階段・エレベーターを南側に移すことができましたので、中央部を有効に使えるようになっております。

委員の皆様事前に配付した図面では、4階部分の公民館の多目的ホールの面積が、今日お配りしました図面より若干狭いものだったのですが、これをPS・DS5を移動させて多目的ホールを拵げた図面になっております。このことが3階部分のPS・DSにも影響してきております。

前回と図書館部分で変わった点はPS・DS、エレベーター・階段の場所の変更になります。図面の説明は以上です。

◎早川委員長

ありがとうございます。前もっていただいていた図面と変更になったところ、前回の検討委員会でもトイレの位置と階段は皆様から頂戴した意見が反映された形になっていると図面から見てとることができます。

駅前再開発について担当の方がいらしておりますので、この図書館のゾーニングについてスケジュールからみて変更が可能なのか、それともタイムリミットが迫っているものと捉えて議論を進めていいのか、こうしたことを明言できるのか、進行状況を含めてお話しいただけますか。

◎増田復興再開発推進室 松原主事

基本設計は今年度で完了、次に実施設計に入る段階に来ていますので、これ以上の変

更については進行に支障が出てくると思われます。基本的なゾーニングについては固めていただけると次へとスムーズに進むかと思われます。

◎早川委員長

今ご説明がありましたように、基本設計が今年度内、4月以降は実施設計で、一番大事な基本設計でのゾーニングは3月中に決定していくということです。

中の書架レイアウトといった点につきましてはまだ検討の余地はあるかと思います。建物にからむ、水回り、階段等について、意見が相当反映されているのではないかと思われます。

ここで皆様にご相談ですが、ライブラリーミーティングで出されたご意見を先に説明いただいて、それを踏まえてゾーニングの話を進めていきたいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。そういう進め方でよろしいですか。では事務局からライブラリーミーティングで出された意見やその他で出された意見のご説明をお願いします。

◎石川主査

お手元にありますライブラリーミーティングの意見結果についてですが、項目で172件のご意見をいただきました。項目分けは、前々回でこの検討委員会で柴崎館長が説明したもの（整備計画）に照らして付けたものになります。

このライブラリーミーティングは各公民館や集会所含め市内18ヶ所回りました。時間帯は午前・午後・夜で、73名の参加者がありました。

まず、パワーポイント資料で新図書館について説明し、次に参加者からご意見をいただき、基本的にはその場で回答しました。内容は計画に沿ったものとしていますが、計画以外のその他のこと、例えば再開発事業のこと、予算の事、設計に関すること、本検討委員会の考え方に関することや図書館側だけで答えるのは難しい駐車場や交通アクセス等も問われました。

この内容につきましては、内部でも決裁をいただいております、4月1日号の広報の中のみんなの図書館にもお知らせしております。また、先の日曜日から名取市図書館ホームページにも載せ公開しております。

委員の皆様事前に送付した資料から一部訂正している箇所があります。No135 絵画の貸出しについては事前送付した資料では想定していないという回答になっていますが今後検討しますという回答に訂正しております。

お読みになって疑問に感じたことなどを教えていただけるとありがたいと思います。

◎板橋委員

絵画は持っているのでしょうか。

◎石川主査

持っていません。

◎板橋委員

今後どのようにするのか。無ければ買うしかないのではないか。

◎石川主査

新図書館整備してから、もしくは整備段階で検討することになると思います。

検討を進めていけば、新図書館のスペースの問題も出てくるとは思います。現時点では含みを持たせた回答としています。

◎柴崎館長

現時点では絶対にやらないとは言えませんし、南相馬市立中央図書館や友好図書館である石狩市民図書館でも絵画の貸出しを行っております。活用もかなりされているという実態も把握しておりますので、名取市図書館においても絵画の貸出しについて検討をしたいという気持ちでおります。

◎板橋委員

無いものを検討しなくてもよいと思うんですね。南相馬市がどのようにして購入しているのか分かりませんが、この点が気になりましたので。

◎早川委員長

参考までに南相馬の場合は、同じような検討委員会の場で、大きくなくていいから気軽に借りられるリトグラフといった絵をぜひ貸出し用として新しい図書館ではサービスを行ってほしいという意見がありました。この文面のニュアンスではなくぜひともやってほしいという意見の下に行いました。また、事務局からお答えがありましたが、書籍・CD・DVDより稼働率は高くはありませんが決して低くもありません。南相馬はかなり大型の図書館で空間を創る雰囲気、至るところに絵画があって絵画を観るのが日常的に行われているという側面は大きいのかなと思います。絵画の大きさからすると自転車で来られた方が持って帰られるのはなかなかしんどいという面もあります。板橋委員のご心配からのご質問だったと思いますけれども、まだ検討する時間はありますのでよろしいでしょうか。

もう一点、どこから買うのかというご質問ですが、仙台市には複製絵画を扱っているところもありますし、南相馬の場合は郡山の業者から複製絵画・ポスターを手頃な値段で売ってくれるところがあります。ですので、やると決まれば調達するのはそんなに難しくはないと思います。ひと昔前よりもかなり適正な値段で複製絵画は手に入るようになったという印象は持っておりました。

◎佐伯委員

絵画というと額縁に入ったもの、高価なものというイメージですが、それを貸し借りとなると破損した場合の問題が出たらどうなるのかなと思いましたが、気軽に借りられる絵画となるとどのような感じになるのでしょうか。

◎早川委員長

一番核心の部分になりますが、今までは佐伯委員がおっしゃるやうにとっても大きくて、落とすことが心配で借りられないということを幾つかの図書館で目にしてまいりました。

そうではなくて、書籍+αぐらいの値段で買って気軽に借りられるようにしましょう、というようにしました。そうでないと借りていただけなくなってしまいます。

他の図書館でやっていたことを踏まえ大きいものではなく、サイズも小さく、額縁も木製・スチールで扱いやすいものに転換しました。高価なものを買わない、お互いに扱いやすいものという共通認識を検討委員会で見出されました。

ですから、例えば方法の一つとしてそんなに数が無くても選んで本当に飾りやすいものにする、例えば子どもの絵本作家が描いたきれいな絵・原画を飾っておいて、「これも借りられます」というようにもできますし、やり方はいろいろあると思います。

岡本さんはいろいろな図書館をご覧になってどのように思いますか。

◎岡本アドバイザー

私はできれば実施でいった方が良くと思います。あまりサービスとして知られていない部分ですが、先日都内で会社を設立されている方がオフィスを借りて絵を買って応接室の雰囲気づくりをしようかという相談を受けましたので、図書館から借りることができますよと伝え、実際に図書館から借りて飾っています。

これは結構意味があると思いましたが、中小事業者にとって自分の会社のお金で投資するというのは最初難しいわけですね。そういうときに公共サービスとして図書館から絵を借りてきて応接室に飾るといったことができるのは、図書館の強みと言えば強みです。それと公共サービスとして意味があるなと思ったのですが、企業と言えどその地域で法人税を納めているその地域の大切なプレイヤーの一人ですから、企業の方々にとっても図書館がそういうことをしてくれるんだということを知っていただくということが重要ではないかと思っております。それから名取の場合、まだまだそれほどではないですけれども立地の良さを考えた場合わざわざ仙台に事務所を構えなくても名取を選択する方々も必ず出てくるかと思えます。そういうことを考えたときに、図書館の世界でいわゆるビジネス支援というのですが、ビジネスや産業を営んでいるの方々に対する支援的な役割としても価値を持ってくるのではないかと思います。

◎早川委員長

絵画については事務局の意見も踏まえて今後柔軟に考えていくということによろしいでしょうか。他にご意見ありますか。

◎柴崎館長

先ほど石川から説明がありましたが補足説明させていただきます。

出張ライブラリーミーティングに参加された方の年齢層についてですが、一人の方を除きましてほぼ高齢者の方の参加でした。若い世代の方の参加が少なかったこともあり、2月28日に絵本作家のとよたかずひこさんをお招きした時に、アンケートを取ったのですが、その中で新図書館に関するご意見・ご要望について書いてくださいという項目を入れました。その結果が本日お渡しした「とよたかずひこ氏講演会」アンケート集計結果になります。こちらは若い方が中心ですので、また違った意見が出されています。ぜひお読みになっていただければと思います。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。ここで確認しておきたいことがあるのですが、図書館のこと含め再開発事業についてパブリックコメントは実施しましたか。

◎増田復興再開発推進室 松原主事

実施していません。

◎早川委員長

はい、わかりました。では今このような形で様々なご意見を頂戴しているということですね。では事務局にお伺いしたいのですが、本検討委員会で触れられなかったご意見や、事務局で想定していなかったご意見はありましたか。

◎柴崎館長

施設整備に関するご意見は概ね予想通りの意見だったと思いますが、施設そのものだけではなく、いろいろな角度からのご意見を頂戴したと考えています。中には例えば12ページNo144の数値目標を掲げるべきという厳しいご意見を頂きサービス計画の必要性に触れていますが、その他本検討委員会で出されなかったご意見がこの中にはかなり多くあると考えています。

◎板橋委員

気になったのですが10ページのNo115駐車場に関することなのですが、有料の方向と書いてありますが、本当に有料にするのでしょうか。

◎増田復興再開発推進室 松原主事

例えば南相馬の図書館も同じく駅前という立地ですから、駐車券を一度取って受付で無料にするというやり方だったと思いますが、名取駅前は一時間無料にするだとか図書館利用者は無料にするといったようにしていかないと、全部が無料だと単に駅を利用

するだけの人が留めていくということも大いにありうるのだと思いますので、運用のやり方を考えなければならないだろうと考えております。

◎板橋委員

確かに電車に乗るために使う人がいるかもしれませんが、本当に図書館を利用する人については利用券を発行するなどの配慮がないとまずいのではないかと思います。よろしくをお願いします。

◎早川委員長

駐車券を取って図書館のサービスデスクに差し出すと 2 時間程度無料になるような処理がされるというようなイメージでしょうか。

◎板橋委員

そうですね。駅前ということで数少ない駐車場をずっと使う人がいるかもしれないということで気にはなるのですが、有料よりは無料にさせていただいた方がよいと思います。

◎早川委員長

駅前の駐車場については、限られたスペースであり、施設利用者が一定時間無料となるといろいろな方面に関係してきますので、さらに検討をお願いいたします。

それともう一点、駐輪場のことですね。私が街中にある新しい図書館を訪ねたときに、見るからに自転車が道路に出そうになっていた光景を見たことがありまして、車の利用と自転車の利用は今後おそらく増えていくのだらうと思っています。南相馬でも自転車の置き方につきましてはお叱りを頂戴しましたので、駐輪場の台数等も踏まえて検討をお願いしたいと思います。よく駐車場ばかりに目が向き、駐輪場までは気が回っていないような図書館も見受けられますのでよろしくをお願いいたします。南相馬の図書館の設計者も駐輪場は要注意だと申ししておりました。私個人的な考えとしましては自転車での来館者は相当来られるのではないかと考えております。

あとはバイクも交通手段として使われる方が結構いらっしゃると思いますので、いわゆる大型含め二輪車についても想定していた方がよいかと思います。

◎大野委員

ライブラリーミーティングについてよろしいでしょうか。13 ページの No148 ですが、新図書館に向け新しい設備を買うことに目が向いてしまっていると思いますが、建物も決まっていないので後回しでもよいかとは思いますが、現図書館の書架の利活用についてはいかがでしょうか。私的な意見ですが、この意見を述べた方は図書館に対して書架

を贈っていただいたことから、新図書館でも使ってほしいという思いがあるのではないかと考えて述べられたのだと思います。贈られた方にとって新図書館で活用されないというのは悲しいことだと思いますので、全てではないにしても一部でも残してもらえるといいのではないかと思います。

◎柴崎館長

現図書館の書架は組手什という方法で作られており、登米の森林組合に発注しボランティアさんみんなで組み立てたものです。ですから厳密に言えばユニセフやカナダから贈られたものではありません。現図書館の雰囲気にとっても合った書架となっていますので愛着を持っている利用者もたくさんいるかと思いますが、新しい図書館に移設はできないと考えており、置いていけば解体せざるをえないかもしれません。ただ組手什という方法については震災後に私自身が初めて知ったこともあり、部分的に利用できるような工夫ができたらいいなと思っています。

◎岡本アドバイザー

私もその組み立てには関わりましたので意見を述べさせていただきたいと思います。

その当時においてはとても良い選択だったと思いますが、新図書館の中である程度の蔵書を確保すると考えた場合、やはり新しい棚を買った方が良いでしょうと思います。

耐震性については組手什という仕組みを選ぶ際慎重に検討しましたがけれども、予算の問題も大きかったこともあって選択したという部分があります。

そういう意味では新図書館の中で、ある程度の揺れは吸収して本棚から本が落ちないようにするといった最新式の本棚等ありますので、そういう形に切り替えていくのが良いのではないかと思います。

それと組手什の場合、実際に運用している中で最大の限界は一回組んでしまうと、棚の高さを簡単に変えられないということになります。図書館の本棚というのは、本のサイズにあわせてある程度棚の高さを変えてフレキシブルに運用できるということが極めて重要になりますので、固定されている本棚というのは大概司書の方であれば絶対買わないものになります。

震災後のあの時点では仕方なかったと思いますが、新図書館の場合収蔵冊数を増やすということを考えますと、新しい棚にするという選択になるのではないかと思います。

また、本棚を組み外して再利用が可能という環境的な観点から組手什を選んだ理由でもあります。現図書館がどのようになるのかということもありますが決して無駄にはならないと思います。解体して別の場所で再利用するということが可能ですので、なるべく無駄にならないように再利用を図るということでもよろしいのではないかと思います。

◎早川委員長

ありがとうございます。私も全く同じ意見です。例えば公民館図書室や学校図書館といった希望のあるところに再利用してもらおうというのはどうでしょうか。私のいた南相馬でも、古い図書館に造りつけの木製書架があったのですが、市内で希望を募ったところ、保育園や幼稚園からたくさん手が挙がり、現在再利用されています。

この組手仕の棚は比較的容易に移動できますので、再利用していただく方向で考えていけばよろしいのではないかと思います。

◎板橋委員

児童コーナーには大きい本や小さい本を置くことができる書架を置かなければならないとは思いますが、現在使用している背が低い書架であれば新図書館に持っていくことができそうではないでしょうか。

◎早川委員長

新図書館には新しい書架等を調達する計画がありますので、基本的にはそのように進めてよいと思います。既存の図書館や書架がとても魅力的だという評価を皆さんから頂いていますが、新図書館へ良い活かし方ができればいいなと思います。

◎岡本アドバイザー

ちなみにあの書架は登米市の森林組合に作業していただいておりますが、非常に意味があると思うのは、被災自治体である名取市が寄付を活用し、同様に苦境にあった登米市の森林組合に発注したということです。学校等に残し語り継がれていければと思います。

◎板橋委員

現図書館の木の雰囲気はいいですね。

◎岡本アドバイザー

新図書館の検討の場では、普通今の図書館は使いにくいといった指摘しか出ないものですが、名取は市民の方が現図書館を非常に愛してくださっているということがあります。広さ等の課題はありますが、狭いなりにスタッフが非常にケアして運営していますので、そういったところが評価されているのかなと思います。

◎早川委員長

既存の図書館がここまで評価されるというのはなかなか無いと思います。新図書館に今の書架を持っていってもいいぐらいですという意見はなかなか頂けないものです。

ところで、この模型の説明はよろしいですか。イメージしやすくなると思いますのでよろしくをお願いします。

◎事務局

前回の会議の中で、立体的なイメージしやすくするため模型があった方がよいとの意見が出ました。現段階では金額的な部分も含めて業者に依頼することが難しく、素人ですが事務局側で発泡スチロールや厚紙を使って製作しました。当初の図面のものですが、後ほどご覧になっていただければと思います。

◎早川委員長

立体的なものがあるだけでも違いますね。これを見て気付く点もあるかと思います。

可能であれば、実施設計が終了するあたりで設計会社に作っていただけると、こんな図書館ができあがりますよ、ということで小中学校に持って行くことができたりして、機運を盛り上げるのに使えるんですね。平面図ではなく模型を見れば具体的にイメージができますし、PRにも使えますし、機運を盛り上げていくことにも使えます。

参考までに申し上げますと、南相馬の設計会社は無料で製作し提供してくださいました。それを小学校に持って行き子どもたちに見せると大喜びでした。その模型は屋根が外れて棚や人が使っている様子を覗けるようになっていました。そのように機運を盛り上げていくということは必要ですし効果もあると思います。

びっくりしたのですけれども、施工会社もその模型を見ながら建物をイメージしていたということです。やはり施工図だけでは造る方もイメージが湧かないということです。例えば設計者が考えていたアールについて模型を見て初めて分かったということがあって参考になったのですが、そのことは市民の方がご覧になっても同じなのかなと思います。非常に楽しみです。

◎板橋委員

No46のCD・DVDを視聴できる場所というのは、図面の資料からは見てとれないのですが作るのでしょうか。

◎柴崎館長

実施設計で検討しますとお伝えしておりますけれども、作る予定で考えています。

今後公民館との協議が前提になりますが、3階学習室のみを残し2階多目的室1の部分は外し、公民館の講義室などを兼用させてもらっていろいろなイベントを行っていきたいと考えております。図面上では2階多目的室は無くし、代わりに視聴覚関係、例えば「音と映像のコーナー」として設けたいと考えています。

◎板橋委員

あまり多くのものや立派なものにするとお金がかかりすぎますので、なるべくお金をかけないようにしていただきたいと思います。太白区図書館や岩沼市の図書館にも設備はありますが、お金がかかりすぎて止めたところもありますので、適度に設置していただければと思います。

◎福間委員

設計の部分でよろしいでしょうか。音とにおいがどうなるのかなと思っています。1階がテナント・4階が公民館ということで調理実習室がありますが、防音対策について、公民館をいろいろ利用していますと老人会などでよく調理実習室を使いますが、よくにおいが意外と漏れ気になるところですので、その対策をどのように考えているのかお聞きします。

◎早川委員長

他のフロアの音の対策、公民館部分の調理実習室を利用した時のにおい対策についてどのように考えているか、事務局お願いします。

◎柴崎館長

私の立場で答えるべきご質問かどうか難しいのですが、防音やにおい対策は設計会社が慎重に検討して建物を設計しているのだらうと思っています。においについては図書館の中でいろいろと問題になっております。その対策として全国のいろいろな図書館ではアロマをたいたりして工夫しているところです。新図書館においてもそのような問題が発生した場合にはそのような対応をとることを考えています。

◎福間委員

はい、わかりました。よろしくお願いします。

◎三塚委員

No116にあります名取駅の西側に駐車場を用意できるのでしょうか。

◎増田復興再開発推進室 松原主事

市が所有している土地があり、現在市民活動支援センターの臨時駐車場となっております。この駐車場を西側から来られる方の駐車場として提供できるのではないかと考えております。

◎早川委員長

先ほどの福間委員のご質問はとても重要なことです。図書館はまず音の対策ですね。

勘違いの無いように申し上げますと、今の図書館ではBGMを流す図書館もありますし、昔のように静かな空間ばかりではありません。使う方が心地よく使えるために音の出てもよい空間、静寂を必要とする空間、それと他のフロアの音についても図書館内に入ってくることを避けなければなりませんので、その対策については設計会社にもきちんと伝えるべきだと思います。

なおについても同様で、空調が重要になります。

それともう一つありまして、光が考えられます。光が入りすぎる図書館というのも非常に問題が多いです。本が日焼けしてしまうからですが、このようなことは慎重に慎重を期して設計に取り組んでいただき、また設計会社にもお伝えいただきたいと思います。

複合施設はそのような問題をどうしても抱えますので、きちんと考えていただければと思います。

私のいた現在は一関市立川崎図書館となっていますが、図書館スペースと公民館スペースが同じフロアにあったことから、調理室からのにおいや歌を歌っているときの音の問題がありました。

新図書館はフロアが分かれていますので、このようなことはきちんと考えるべきだと思います。一回造ってしまうと変えられませんし、土・日曜日は一日3千人程度の出入りがあると思いますので、よろしくをお願いします。

設計される方がたくさん利用される図書館をぜひ自分の目で見ていただいて、きちんと対策も考えた上で、図面を引いていただきたいと思います。

間違っても甘く見る事の無いようにしていただきたいと思います。造り変えられませんので。当然設計の方はいろいろな図書館をご覧になっていると思いますし、見過ぎるということはありませんので、慎重に慎重を期して取り組まなければならないところはきちんと検討していただきたいと思います。

◎三塚委員

公民館の多目的ホールは体育館にもなるようなところなのですか。音の話が出てどのようになるのかと思いましたので、運動場にもなるのかどうか。

◎早川委員長

はい、音に関しての心配も含めましてどういう催し物をやるのか、中身はどのようなかということですね。

◎川村課長

普通の体育館のような使われ方ではなく、ダンスやちょっとした軽運動ができるよう

なものを考えています。以前ありました市民会館のイメージです。そこで社交ダンスの練習やフォークダンスの練習や軽く体を動かすことはできますけれども、バレーボールやバドミントンといった運動までは想定していません。

◎板橋委員

他の公民館では卓球、バレーボールバドミントンなど運動できますが、増田公民館では運動をやれないのですか。

◎川村課長

下の階に図書館があるので難しいと考えています。

◎早川委員長

複合施設ならではの想定をしておかなければならないご質問だと思います。

◎三塚委員

最初の計画の中で地域交流スペースを割合大きく考えていたように思うのですが、送付された図面にはカフェの周辺を見ると、情報交流する場所としては椅子やテーブルの数が少なく、例えばカフェがあっても飲食することがあまりできないような気がしたのですが。最初の計画より減っているように思ったのですがどうでしょうか。

◎柴崎館長

カフェ上部が狭くなっているのではないかとのご質問かと思いますが、このあたりは先ほど申し上げましたように多目的室を外したいと考えていますので、つくり方等について今後考えてまいりたいと思いますし、カフェで買ったものはエントランスホールでも飲食できるようになっておりますので、その使い方も今後考えてまいりたいと思います。

◎三塚委員

ということは、エントランスホールでも飲食ができるつくりにししていこうと思っているのですね。

◎柴崎館長

はい。

◎早川委員長

限られたスペースでも座るところがあってお茶を飲めるところが多くあればいいなど

いう内容ですよね。

今は図書館に対して意見を頂戴しますと、一定時間を良い空間の中で過ごしたいというご意見等もありますので、それも踏まえて素敵な空間にしていただければと思います。

◎三塚委員

もう一つよろしいですか。お話の部屋についてですが、これまでよく車椅子で来られる方もいますが、おそらく新しい図書館ができて同様にいらっしやると思います。それでお話の部屋に 10cm か 15cm 程度の段差をつけると前に説明されていましたが、車椅子で来られる方のために入る部分をフラットにし中は絨毯仕様を避けるといったようにした方がよいかと私は思いますが、どのように考えていますか。

◎柴崎館長

お話の部屋について、図面では丸みを帯びた形で入れております。かなり広いスペースとなっており、全体のバランスを考えますとここまで広くなくてもよいのではないかと考えておりますが、そのようなことも含め、今後皆さまのご意見を聴きながら、子供たちが喜ぶような形のお話の部屋を考えていきたいと思っております。

それから靴を脱いで上がるということを想定しておりましたので、段差をつけると申しましたが、そういうことも含めて、皆様からご意見を頂戴して実施設計に移っていくようになります。

今日の会議で形、面積、段差やカーペットではなくコルク仕上げにするといったようなことは決めませんが、今後考えてまいりたいと思っております。

◎早川委員長

皆さんが使いやすいお話の部屋にしていただければと思います。

お話の部屋は図書館によってお話会をする時だけ開いて使うという使い方、絵本を読ませてくださいという方に使っていただくという使い方、常にオープンにしている使い方、いろいろあると思っておりますので今後検討していただければと思います。

南相馬でも、プラネタリウムをいつでも見れるようにしてくださいとよく言われましたが、なかなか難しいですね。3ヶ所お話会ができるスペースがありましたが、検討委員会でたくさんの意見が出されました。50人や70人でもお話会ができる大きなスペースを取ってほしいというご意見と、反対にあまり大きいと集中できなくなるのでこじんまりしたスペースと分けた方がよいのではないかとのご意見、外でもお話会ができるようにというご意見を頂戴して今の形となりました。このようにいろいろ考えられるのではないかと思います。お話を聴くことが楽しみになるのと、いろいろな方が絵本を読んでみたくなるようになってもらえればいいかなと思いますね。

◎下澤委員

カウンターのことでお聞きしたいのですが、前回は 3 階の部分にもカウンターを置かれていたと思いますが、今回は 2 階のみになっております。カウンターが分かれているとその分職員を配置する必要があるとのことで 3 ヶ所だったのが 2 ヶ所になってしまったのかと思うのですが、総合カウンターと児童用カウンターがだいぶ離れていて、南相馬を見せて頂いたのですが、子どものスペースと大人用のスペースと分かれています。カウンターが近いので、職員が大人の方においても子どもの方にもすぐに対応できるような作りだったと思います。この 2 階の図面では離れている印象を受けます。

◎柴崎館長

カウンターにつきましては、前に申しましたように 3 ヶ所考えております。お送りしました 3 階の平面図にはカウンターが書かれておりません。この図面に配置されている書架は仮に置いてみたということですので、並べ方等は今後検討することとなり、どんどん変わっていくのではないかと考えています。

それから 3 階のカウンターの位置についてですが、今のところ中央から右側の情報発信コーナーとスタッフスペースの中間あたりにかっこよく配置できないものかと考えております。

この図面ですと書架がならんでいるばかりで何のアクセントもなくおもしろみに欠ける感じがしますので、配置するカウンターがアクセント的になれば楽しいんじゃないかと考えております。

それから、2 階の児童用カウンターですが、これについても仮に置いている状態です。先ほど申しましたようにお話のコーナーのスペースが小さくなるということも考えられますし、皆さまからのご意見を伺いつつ直していくようになりますので、カウンターの位置も変わるようになると思いますので、必ずしもこの場所ということではございません。

職員の配置ですが、どのような職員体制になるかはまだ分かりませんし、平日職員が常時配置できるかどうかにつきましては今のところ何とも言えないところですが、土・日曜日は早川委員長がおっしゃったように利用者が増えますので、児童用カウンターに必ず職員を配置させたいと考えております。子どもたちに目が行き届くような家具の配置というのも考えていきたいと思っています。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。平日の夜 8 時まで開館している時は児童用カウンターに職員を配置しないで、矢印などの表示で総合カウンターに誘導するといった工夫が必

要かと思います。

柴崎館長からご説明がありましたように、土・日曜日は子どもの利用が多い時は、図書館の設計で、メインの貸出し・返却・相談デスクとなるコントロールデスクから児童コーナーまであまりに遠いというのは結構見受けられますので、きちんといつでも子どもが探しているサインを出していたら、すばやく職員が対応できるような形を取っていただけたらと思います。すごく大事なところだと思います。

あとはご意見等よろしいでしょうか。一括でございましたけれどもゾーニング案とライブラリーミーティングのアンケート結果について、委員の皆さまからご意見を頂戴いたしました。

続いて（3）その他に入りたいと思います。委員の皆さまから何かございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。事務局から、今後のことも含めて何かございましたらお願いします。

◎事務局

新年度の会議の日程はまだ決まっておりませんが、今後ご相談をしながら進めてまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。次回についても未定ですが、回数は6回を予定しております。平均しますと2ヶ月に1回となりますが、時期によっては縮まることもあると思いますが、次回の会議では概ねの日程等をお示しできるようにしたいと考えています。よろしく願いいたします。

◎早川委員長

岡本さんは来年度もアドバイザーとして参加できるのでしょうか。

◎柴崎館長

引き続き来年度もアドバイザーという形でお願いしたいと考えております。

◎早川委員長

では以上をもちまして議事を事務局へお返しいたします。

◎事務局

長時間にわたりまして検討いただきありがとうございます。以上をもちまして本日の検討委員会を閉じさせていただきます。お疲れ様でした。